



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



11月号

令和5年度

11月1日(水)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

道徳について一緒に考えませんか

校長 下川 耕史

夏の猛暑・炎暑がほんのちょっと前の出来事であったのに、朝夕の寒さが気になる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。このところ、近隣の学校との情報交換では、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行と学級閉鎖の話題が盛んに挙がるようになってまいりました。体調管理には十分に気を付けてお過ごしください。

さて、10月7日(土)に行われました、道徳授業地区公開講座と地域芸能鑑賞会には、多くの方に来ていただき、ありがとうございました。今年度は地域芸能鑑賞会を平日実施から土曜日実施に戻したので、たくさんの方にご覧いただけました。檜原の伝統芸能は本当に多様だと改めて感じましたが、脈々と受け継がれてきた、その多様で豊かな文化をこれからも共有していけたら嬉しいです。また、その前に図書室で行われました道徳授業地区公開講座の意見交換会にも、昨年を大幅に上回る数の方々に来ていただき、貴重なご意見を聞くことができました。

今年の意見交換会では、最初に問題提起のDVDを見て、それをもとに話し合いました。DVDは東京都教育委員会が作成した「子供たちの豊かな心を育むために大人たちにできることを考える」から、「親切なことをしたのに… ～きまりを守ること、親切にすること、どちらが大事?～」というテーマでした。とある路線バスの乗降中の一コマが映し出され、出発の時間に遅れてやってきたお年寄りを、運転手は少し待って乗せてあげました。が、クレームが入り、上司から時間を守るよう指導されてしまいます。「待ってくれるものだと思われたら、駆け込み乗車などの危険な行為が増える」という理由です。後日、また同じような場面があり、今度は待たずに、時間通り出発してしまいます。その時、以前も今回も乗り合わせていた小学生から、「どうして以前は乗せてあげたのに、今回は乗せてあげなかったの」と責められてしまいます。以前時間が遅れたことで会議に遅刻し、クレームを入れたビジネスマンは、同僚から「バスは遅れるものなのだから、それを見越して行動しなかったおまえの方が悪い」と指摘されて考え込んでしまいました。「遅れてきた人を待ってあげているうちに、更にその後、そのまた後と遅れてやってきた人がいたら、どこまで待ってあげるんだろう」「お年寄りではなく、元気な若い人だったら待ってくれるのだろうか」と、疑問を持つ乗客もいました。「きまりを守るべきか、親切にすべきか」あなたならどう考えますかというものです。

- ・ゆとりをもって行動すること、そもそも心にゆとりをもてるのが大事なのは。
- ・檜原村では、バスを逃すと次のバスまで時間がかかるなど、DVDとは事情もかなり異なるのでは。
- ・子供の通学など見守っていると、結構待ってくれることがあったり、停留所だけでなく途中で乗せてくれたりすることもある。
- ・クレームを伝えることが多いのだろうが、いいことも伝えていけるといい。

上記の意見はほんの一部ですが、檜原村はバスが身近にありますので、皆さん議論が白熱していました。が、絶対に正しいという答えがあるわけではありません。子供たちの道徳の授業でも、このような答えが定かではない、しかし価値が揺さぶられるような話し合いがたくさん行われます。相手の立場を思いやったり、様々な価値観を許容できるようになったりすることをねらい、自身の幅を広げることが大事なのです。

意見交換会に興味はあるけれども、どんなことをしているのだろうと興味をおもちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回のようにテーマに沿って話し合うこともありますが、地域の情報共有をしたり、講義をもとに理解を深めたりと、その会によって形式は違います。保護者・地域の方々と学校が意見を交わし合う有意義な場です。来年度は会場を広く、ホールにしてお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

元気アップウィーク



10月16日（月）から10月22日（日）まで、2学期の元気アップウィークがありました。

10月12日（木）の元気アップ集会では、元気アップカードにのっている「友達運び」を全校で行いました。普段、したことの無い動きに全員が楽しく取り組みました。11月の末には学園のマラソン大会もあり、元気アップ週間の後も、体力向上に向けての取組があります。継続して運動することで疲れにくい身体になったり、今までできなかった運動ができるようになったりと運動の楽しさを感じてもらえれば嬉しいです。家庭においても家族でジョギングをした子や家で鉄棒の練習も兼ねて力を高める運動に取り組んだ話などを聞きました。取組へのご協力ありがとうございました。

元気アップウィーク担当

11月の生活目標 相手の気持ちを考えて行動しよう！



高学年になってくると考え方や感じ方が人によって違うことに気づき、相手がどんな気持ちになるのかを考える事ができるようになります。中学年だと、自分ならどう思うのか？という点から相手がどう思うのかを考えていきます。低学年では、相手がどんな気持ちになるのかを教わることで理解できることもあります。

また、相手の気持ちを考えることと同じくらい、自分の気持ちを伝えることも大切だと思います。「アイメッセージ」という言葉を知っていますか。「私は〜と思ったよ」というように、主語を自分にして気持ちを伝える手法です。自分の気持ちを柔らかく伝えることができるので、相手も素直に受け止めやすくなります。お互いの気持ちを考えたり、伝え合ったりすることで、心を通い合わせることができる檜原っ子になって欲しいと思います。

生活指導担当

生活科見学

10月20日に、1・2年生で都民の森に生活科見学に行ってきました。「ティッシュボックス作り」「ボルダリング体験」「秋探し」と盛りだくさんのプログラムでしたが、どれも楽しみながら取り組んでいました。特に、ティッシュボックス作りでは、釘打ちに苦戦しながらも作り上げ、満足そうにしていました。学校で着色をして、展覧会に出品する予定です。お楽しみに！



2年担任

読書旬間

9月25日から10月6日まで読書旬間がありました。秋と言えば「読書の秋」ですね。図書委員会では読書旬間に合わせて、朝の集会で絵本の読み聞かせをしました。「うそつきのおつき」というお話で、タイトル通り、うそをつく月の言葉遊びです。子どもたちも挿絵を見ながら、興味深そうに聞いていました。これをきっかけにたくさん本に触れてほしいと思います。

図書担当



道徳授業地区公開講座

10月7日（土）の道徳授業地区公開講座には、多くの方にご来校いただきありがとうございました。

2校時には、「集団や社会との関わり」に関する内容の道徳授業を全学級で行いました。3校時には、DVDを視聴した後、保護者の方と教員とで意見を交流しました。様々な意見を伺うことができ、大変有意義な交流となりました。

今後も、子供たちの心が豊かになるよう、道徳教育を進めて参ります。ご家庭のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



道徳担当

郷土芸能鑑賞教室

10月7日（土）に、笹野式三番保存会の方々をお招きして地域芸能鑑賞会が行われました。本校児童2名が演者として参加していたこともあり、みんな食い入るように見ていました。檜原村では様々な地域に伝統芸能があり、子供たちは次代の担い手であることを感じさせられました。檜原村を愛し、伝統を受け継いでいく子供たちが、これからもますます育っていけるよう、教育活動を進めていきます。

郷土芸能鑑賞教室担当

